

## 北千里 前田クリニックに通院中の患者さまへ

### 【ヨーガ療法・アロマセラピー療法を受けられたことのある患者様 を対象とした調査研究へのご協力のお願い】

大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野では、「ポリファーマシー<sup>(※1)</sup>の解消へ向けた統合医療と薬剤との関係の探索」という臨床研究を実施することになりました。そのため、前田クリニックに通院されている患者さまの過去の診療記録等から情報収集を行う予定です。データの使用について、ご協力いただきますようお願いいたします。

以下の内容をご確認ください。

○研究の目的および意義

2018年に厚労省は「高齢者の医薬品適正使用の指針」において、ポリファーマシー削減に向けての取り組みとして、高齢者の総合機能評価の把握や服薬アドヒアランス改善<sup>(※2)</sup>に向けた処方適正化の他に、食生活の改善や運動療法など薬を使用しないで病気を治す療法（非薬物療法）の重要性を指摘しています。

今回、我々は非薬物療法としてのヨーガやアロマセラピーを実施することが、薬を使った療法（薬物療法）に効果や影響を与えるかについて調査し、ポリファーマシー解消への貢献について考察することにいたしました。

○研究の方法および期間

2019年4月1日～2020年3月31日の期間に当院を受診した患者さまの中で6か月以上継続して受診され、ヨーガやアロマセラピーを受けられた方を対象とします。

○対象患者さんの診療記録のうち、年齢、性別、病名、処方歴、ヨーガ・アロマセラピー実施歴等を調査いたします。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等はありません。

○診療記録から得られたデータは、個人情報かわからない状態にして大阪大学大学院薬学研究科及び兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野（共同研究施設）の鍵のかかる保管庫で厳重に管理します。

○個人情報が特定できない状態にして、関連学会や論文発表により、研究成果を報告いたします。

※1 ポリファーマシー：

多くのくすりを服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなるような状態をいいます。単に服用する薬の数が多いことではありません。

※2 服薬アドヒアランス

医師の指示に従って、患者さん自身が積極的に薬を用いた治療を受けること。

データの使用に同意いただけない場合は研究に使用いたしませんので、下記連絡先までお知らせください。その場合も一切の不利益はありません。

【研究担当者】 前田クリニック 院長 前田 和久

連絡担当者： 坂本 淑子 TEL：06-6832-8635